

# 中志段味組合だより

## 第七十回総代会を開催

### 「令和八年度収支予算(案)」を承認

令和八年三月一日(日)にサイエンス交流プラザにおいて、総代五十一名(うち書面による者六名)が出席し、松原尋司議長、林敬士副議長(代理)のもとに第七十回総代会を開催し、別記の第一号議案について、賛成多数で承認されました。

### 組合長あいさつ

組合長 深田 仁

新緑の候、皆様方には日ごろより組合事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

令和八年一月二十五日の第八回総会において、理事二十名、監事三名の選出を頂き、二月五日付をもって組合長に就任しました深田仁です。身の引き締まる思いであり、新理事・監事とともに、組合事業の着実な推進に向けて全力で取り組んでまいります。

今回の総代会では、令和八年度収支予算(案)についてご審議いただくとともに、令和七年度上半期収支決算状況および仮換地指定の軽微な変更についてご報告させていただきます。

令和八年度収支予算(案)については、令和七年度に引き続き、道路・水路・調整池等の公共施設工事等を進めていくための予算となっております。皆様方にはご協力をお願いいたします。役員一同、早期の事業完成に向けて、致団結して取り組んでおりますので、地権者の皆様におかれましても、ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 総代会議案等の概要

### ●第一号議案

#### 「令和八年度収支予算(案)」について

収入予算額 金六十五億五千七百四十二万三千六百六十三円  
 支出予算額 金四十五億五千五百七十七万三千六百六十三円  
 次年度繰越 金二十億百六十五万円(令和九年度へ繰越)

### ●報告事項

#### 「令和七年度定期監査(上半期)」について

令和七年度上半期収支決算等について、令和七年十二月四日と十日の監査結果を監事から報告いただきました。

#### 「仮換地指定の軽微な変更について」

令和七年度において、軽微な変更として仮換地を変更した箇所について、報告しました。

主な質疑等は裏面をご覧ください。

## 令和8年度収支予算内訳

### ○収入の部

(単位:円)

科目	予算額
1 補助金	533,170,156
2 助成金	3,122,497,507
3 保留地処分金	18,249,000
4 雑収入	10,210,000
5 仮清算徴収金	100,000
6 繰越金	2,873,197,000
合計	6,557,423,663

### ○支出の部

(単位:円)

科目	予算額
1 会議費	180,000
2 事務所費	114,192,000
3 工事費	3,194,128,101
4 補償費	459,653,835
5 調査設計費	402,165,727
6 負担金	285,000,000
7 雑支出	354,000
8 仮清算交付金	100,000
9 予備費	100,000,000
合計	4,555,773,663
令和9年度への繰越	2,001,650,000

## 第7期総代名簿(50音順、敬称略)

総代選挙で当選した55名の皆様は、4月8日に総代に就任されました。よろしく申し上げます。

氏名	住所
浅野 勝美	古山田
浅野 元治	(地区外)
石川 清好	南原
石原 純	長根
市川 敦久	(地区外)
岡田 克己	(地区外)
加藤 和之	西原
加藤 光雄	(地区外)
鎌倉 安男	南原
川地 英治	長根
川本加寿人	東山島
川本 智勝	東山島
川本 英光	四畝物
河本 宏功	東山島

氏名	住所
川本ふさ子	東山島
川本 正司	申新田
川本 三喜	下寺林
川本 稔	西山島
黒木 豊則	可良素
小林 義直	南原
近藤 貴律	吉田洞
齋藤 直文	四畝物
立野 裕司	吉田洞
谷口 陽治	西荒古
谷口 幹男	富士塚
津田 鉅美	(地区外)
出口 絹子	南原
長岡 重明	下寺林

氏名	住所
中島 陽子	西山島
長縄 裕一	吉田洞
中林 年孝	西原
成田 高義	(地区外)
西川 奉嘉	吉田洞
西俣 慎	西原
野田 秋男	湿ヶ
野田 真司	(地区外)
野田 孝明	東山島
野田 敏男	可良素
野田 秀明	可良素
野田 博	西荒古
野田 正由	東山島
野田 康雄	大屋敷

氏名	住所
野田 豊	富士塚
野田 嘉久	湿ヶ
野田 留美	富士塚
野田るりこ	大屋敷
長谷川伸一	可良素
深田 裕一	大屋敷
星 千津子	舟場
松永 邦敏	西山島
松原 茂	長根
松原 尋司	(地区外)
水野 金政	大屋敷
森下 徹	大洞口
横井 利幸	南原

※住所は、中志段味の方のみ字名を記載(令和8年4月8日時点)

総代会での主な質疑等

【第一号議案関連】



Q 補助金・助成金について、令和七年度からの繰越はいくら計上されているのか。

A 国から交付される補助金の繰越額は約五千六百万円、市から交付される助成金の繰越額は約五億一千万円で、合計約五億六千六百万円となっています。

Q 工事費に含まれる工事雑費の仮設工事等と安全対策の内容は。

A 仮設工事等は、昨今の物価上昇や人件費増加に伴う工事費の増加など、当初想定できなかった費用に備えるための予備費です。また、安全対策は、既設道路や水路の維持補修、浚渫等の工事、さらに突発的な地元要望への対応に充てるための予算です。

【工事関連】

Q 下志段味線の工事は、いつ頃実施するのか。

A 基本的な考え方としては、排水機能の確保、中志段味線の整備、移転先の整備、保留地処分金の確保といった点を踏まえ、段階的に整備を進めていきます。下志段味線の工事については、中志段味線の雨水管整備が完了し、長根川の切り替えを行った後に着手したいと考えています。

Q 前回の総代会の際、工事が遅れているのの説明があったが、取り戻すことはできるのか。

A 令和六年度、全て繰越となっていた状況からは徐々に改善しており、前回の総代会で説明したとおり、令和十年度頃には追いつけるよう計画を立てて進めています。

令和8年度工事等予算箇所図(総代会提示資料)



第70回総代会の様子



【発行】

名古屋市中志段味特定土地地区画整理組合  
 名古屋守山区大字中志段味字洞畑2187番地  
 電話 052-736-5030  
 F A X 052-736-5031  
 U R L nakashidami-kukaku.jp

